



# 社会系(地理歴史) カリキュラムデザイン論

## 第12-13講 【カリキュラム】を評価する

— 藤瀬泰司(2016)「子どもの授業評価を活用する授業理論  
検討方法の開発」第27回社会系教科教育学会発表資料—



# 演習課題1

## 重要センテンス7箇所 (Silent Discussion)

- (1) 私の**見解**や**賛否**・**代案**をどんどん書き込む
  - ペンを持参し、各班が1枚の模造紙の前に立つ。
  - どんどんツイート。3分でローテーションします。
  - 他者のツイートにリツイート=コメントしてよい。
  - 賛同するときは、「いいね!!」の意味で♥をつける
- (2) 7箇所にツイートしたら全体を眺めましょう  
じっくり読み込んで、意見の**広がり**や**新たな展開**を報告しよう。



## 演習課題2

### 論文からみんなで考える(グループワーク)

#### (1) **自分たちでもやってみよう**...11:20まで

- 藤瀬論文を参考にして単元構成を考える
- 0枚目に、班の名前と発表者の名前を記す
- 1枚目に、**社会科の目標を意識化**させる授業展開
- 2枚目に、**授業本体**を簡潔に紹介  
原則として、先週つくった公民学習材の授業を使って
- 3枚目に、**授業の有用性や目的合理性を吟味し、社会科の目標を再定義**させる授業展開

#### (2) **最優秀プランを決める**...理由を添えて自分以外の班に投票。優勝班には5点を加点。

# たとえば・・・1枚目は

## 単元の導入

- 社会科とは、なにを**目的**とした教科か？
- 社会科が、**なぜ・どうして****誕生・成立**したのか？
- 社会科の目的を達成するために、私たちは**どのような**力を付ける必要があるか？

ここ重要  
多様な評価を例示する

これら3点を柱にした指導プランと複数の解答パターンを、藤瀬論文を参考にして作成する



たとえば・・・2枚目は

---

## 単元の中身

- 先週発表した単元構想でOKです
- そのままで流用してもいいですし、若干手を入れてもいいです。

# たとえば・・・3枚目は

## 単元の終結

- この授業は、本当に役に立ったか（学習する意味があったか）？ なぜそう評価できるのか？
- この授業は、本当に社会科の目的を達成していたか？ なぜそう評価できるのか？
- 社会科でつけるべき力は、あのままでよいか。もしよくないならば、どのように再定義すべきか？

ここ重要  
多様な評価を例示する

これら3点を柱にした指導プランと複数の解答パターンを、藤瀬論文を参考にして作成する